

ドーマン博士の思い出

柳平： それでは、ドーマン先生のいままで研究なさってこられた過程で、最も大変だったこと、それから、最も楽しかったことについて、お話をお願いしたいのですが。

ドーマン： 最初に悪いことの方からお話しましょう。私の人生最悪のことというのは、何回も何回も起こります。それは、専門家たちに、子供は何でもできるんだということを教えることです。

私の人生最上の経験というのも、また何回も何回もあります。それは、お母様方に、お子さんは何だってできるんですよ、と申しあげるときです。お母様方は、すべて皆子供は何でも習うことができる、ということをご存知なのです。

私の自宅に、3冊の本があります。それは全世界のお母様方からいただいたお手紙です。それには、お母様方が小さなお子さんに読むことを教えたとき、何か起こったか、ということが書い

てあります。

ときどき、世の中がいやになってしまったり、気が滅入ってしまったり、心配ごとがあるとき、私は事務所に入り、鍵をかけて、そういうお母様方からの手紙を取り出して読みます。そうすると、私は元気を回復します。